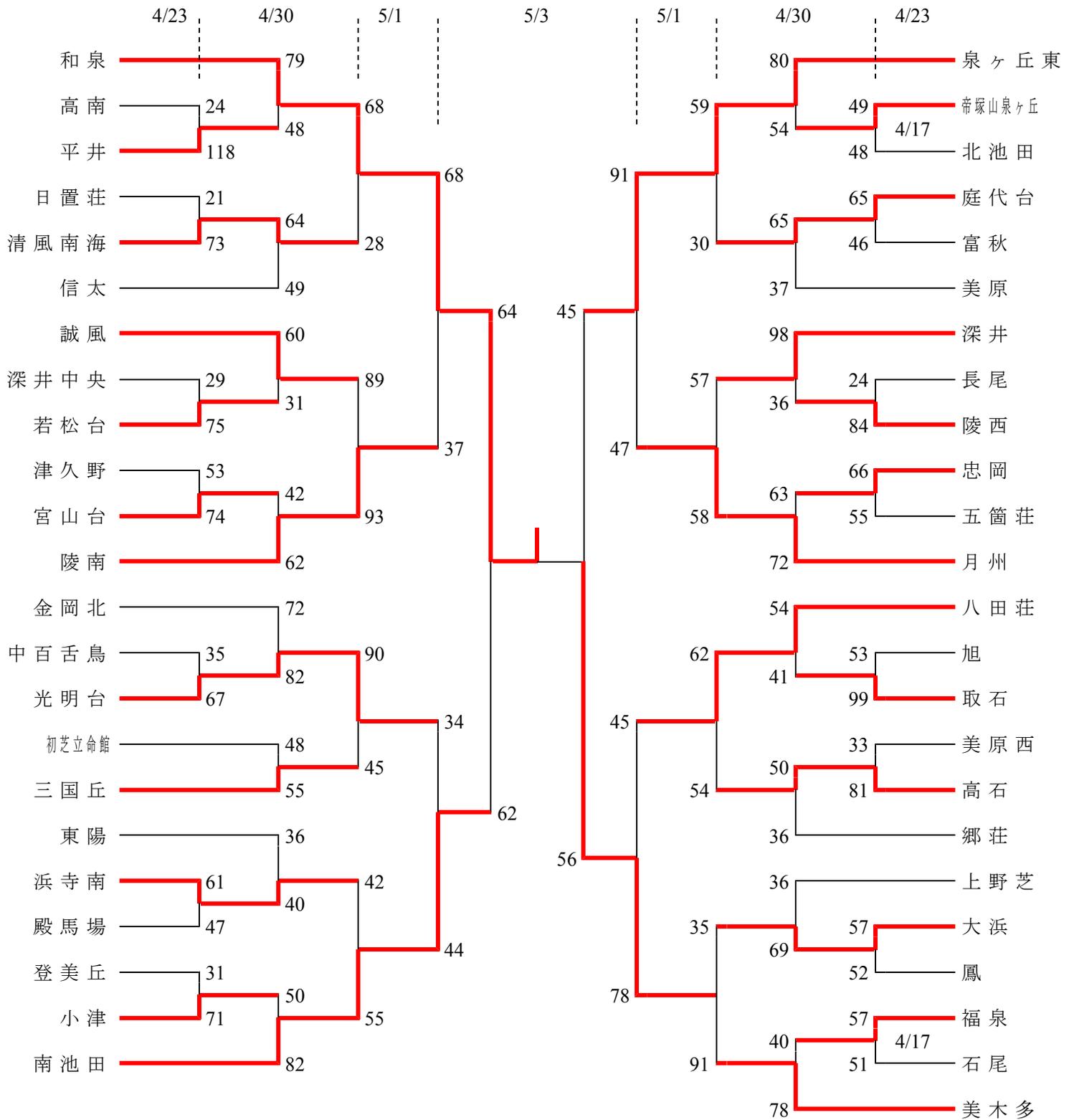


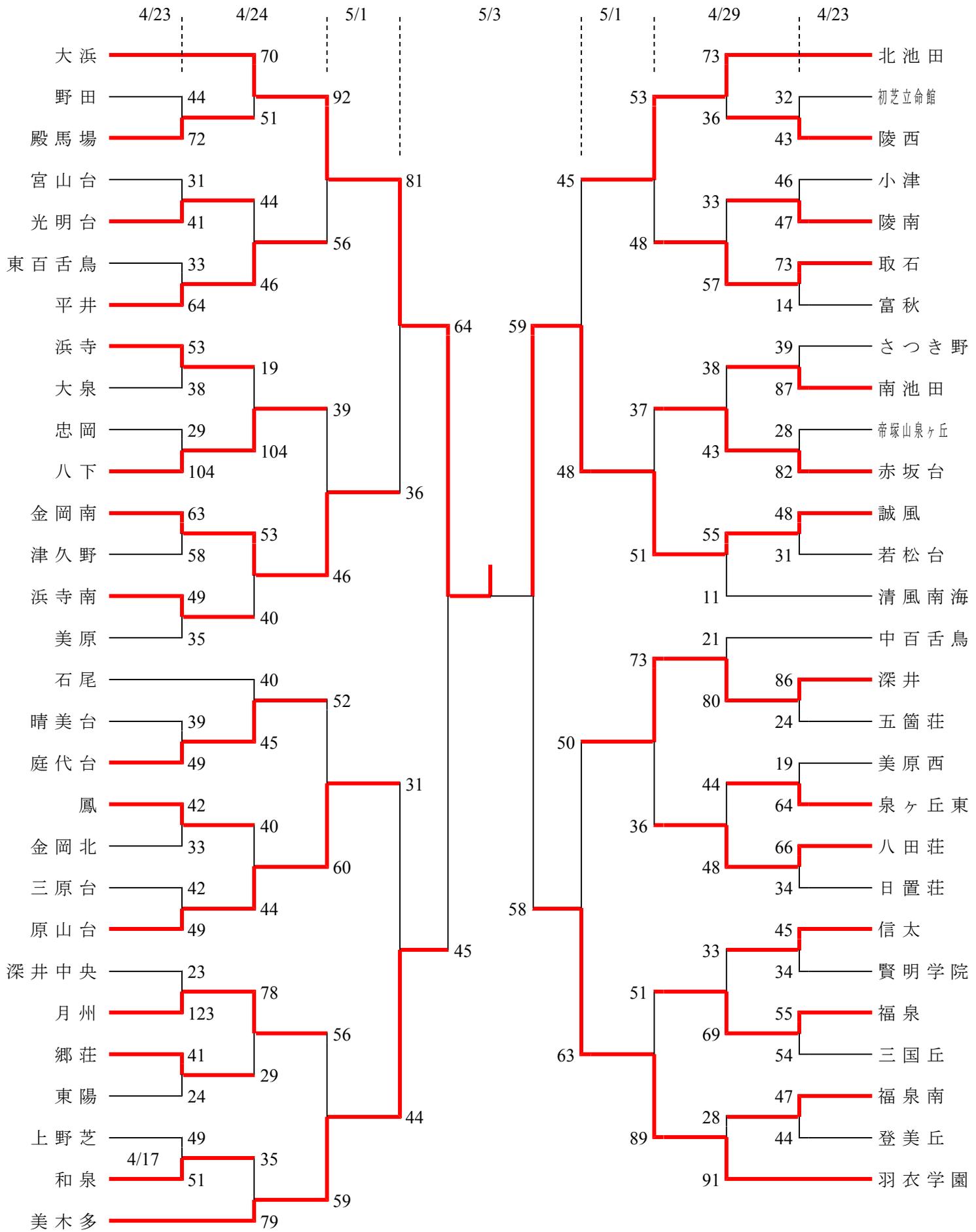
2011年度泉北地区春季大会

男子の部



	決勝		
和泉	5 7	- 4 9	美木多
	12 10	10	
	16 20	12	
	17 30	11	
	12 40	16	
	3位決定戦		
南池田	5 9	- 4 1	泉ヶ丘東

女子の部



	決勝					
大浜	4	7	-	4	3	誠風
	11	10		11		
	13	20		12		
	9	30		8		
	14	40		12		
	3位決定戦					
美木多	4	4	-	6	2	羽衣学園

男子決勝戦評

和泉④⑤⑥⑧⑨、美木多⑤⑦⑧⑩⑫、両チームともにハーフマンツーマンでスタート。お互い様子を見ながらの静かな立ち上がりの中、両チーム1対1を中心にオフェンスを組み立て、バランスよく得点していく。お互い譲らず12-10と和泉がリードして第1Qを終える。

第2Qに入ると、和泉はディフェンスからの速攻が出始め流れをつかむ。対する美木多は⑦の1対1を中心に對抗し、粘りを見せるが28-22とリードが広がる。

第3Qに入っても和泉は⑤を中心にバランスよく攻め続け、リードを拡げていく。美木多は⑦以外の攻め手がなくなり、苦しい流れのまま45-33となる。

第4Qも流れは変わらずゲームが進む。残り9秒で怪我で長期離脱していた和泉⑦が出場。そのまま和泉が優勝を飾った。大阪府選手権大会に向け、期待の高まる内容であった。
(福嶋、福渡、亀井)

女子決勝戦評

大浜④⑤⑥⑦⑧、誠風④⑤⑥⑦⑨でスタート。出だしは互いにシュートが決まらず、大浜⑥のフリースローから試合が動き出す。互いに堅い守りを発揮し、なかなか得点に結びつけることができず一進一退の攻防が続く。大浜は⑤⑦のセンターを使い、誠風は④を中心に攻撃を組み立てる。11-11と互いに譲らず1Qを終える。

第2Qでも第1Q同様のゲームが展開される。大浜はリバウンドを確実におさえる。対して誠風は粘り強いディフェンスをがんばり、24-23と接戦で前半を折り返す。

後半が始まると誠風は2-2-1からの粘り強いディフェンスが効果を発揮し、とくてんに結びつけていく。しかし、大浜は⑥が3Pを要所要所で決め、逆転を許さない。

最後の最後まで目の離せない試合であったが、常にリードをし続けた大浜が勝利を勝ち取った。大浜、誠風ともに大阪府選手権大会へ向けて、一層のレベルアップを期待したい。
(市原、安慶名)